

(別紙)

## 地域サポート計画(新規就農者向け)

(令和5年5月現在の情報)

都道府県名	北海道	市町村名	芦別市	問合せ 窓口	(組織名) 芦別市担い手育成総合支援協議会 (住所) 芦別市北1条東1丁目3番地	(電話) 0124-27-7838 (メールアドレス) nousei@city.ashibetsu.lg.jp
-------	-----	------	-----	-----------	---	--

### 第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方等、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)		
	令和5年度		令和4年度		令和3年度			令和2年度	
		うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下			うち49歳以下
新規就農者数(必須)	1	1	3	3	4	4			
内 訳	新規参入者数				2	2			
	新規自営農業就農者数	1	1	3	3	1	1		
	新規雇用就農者数					1	1		

注1: 「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。  
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2: 「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3: 「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	迷ったら相談してください。
地域と農業の紹介文	芦別市は、北海道のほぼ中央に位置し、総面積は865.04km <sup>2</sup> を有しています。そのうち森林面積が88%を占めている典型的な中山間地域です。気候は大陸的で、農耕期間の平均気温は16.5℃と比較的温暖であり、市域の中央部を空知川が流れ、それに注ぐ大小の支流により恵まれた水利を利用し、流域に平坦な農用地が広がります。芦別市の農業経営形態は水稲を中心として、畑作物や施設園芸作物等を取り入れた複合経営が主になっています。
主な農産物	水稲、メロン、花き、南瓜、馬鈴しょ 等
地域が求める新規就農者	心身ともに健康な18歳以上50歳未満の方

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	空知農業改良普及センター中空知支所	販路支援	JAたきかわ芦別支店特産販売部
農地確保支援	芦別市農業委員会	生活に係る支援 (住居、子育て等)	芦別市役所企画政策課まちづくり推進係
機械・施設等の確保支援	芦別市役所農林課農政係	事務局・全体調整	芦別市役所農林課農政係
資金相談	JAたきかわ芦別支店農業経営課	その他(〇〇)	
農業者による指導	市内の指導農業士及び農業士	その他(〇〇)	

3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	就農・移住相談対応、就農相談会の開催	新規就農フェアの参加や北海道農業公社HPにて相談に応じている。
	就農体験ツアー・インターンシップの実施	1週間以上1か月以下の期間において、芦別市で農業体験
	ホームページ、パンフレット等での情報提供	芦別市公式ホームページ参照( <a href="https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/">https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/</a> )
	その他	
就農前の支援	研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	芦別市担い手育成総合支援協議会作成のカリキュラムにより実施
	就農計画作成サポート	サポートメンバーをはじめとする関係機関作成のアドバイスによりサポート
	農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	サポートメンバーを活用した相談受付
	販路確保、販路開拓に向けた支援	JAたきかわ芦別支店や市内及び管内直売所の活用のほか、芦別市ふるさと納税返礼品への情報提供
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	芦別市公式ホームページ参照( <a href="https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/">https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/</a> )
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	サポートメンバーを活用とした相談受付や研修会等の情報提供
	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	サポートメンバーによるヒアリングの実施
	販路確保、販路開拓に向けた支援	JAたきかわ芦別支店や市内及び管内直売所の活用のほか、芦別市ふるさと納税返礼品への情報提供
	地元農家や地域住民との交流促進の取組	JAが組織する各部会への参加のほか、市内イベントへの参加
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	芦別市公式ホームページ参照( <a href="https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/">https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/</a> )
	その他	

注:地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

#### 4 就農までの流れ(必須)

就農相談	就農準備段階	就農
<p>○ステップ1 北海道農業担い手育成センター外部サイトにより就農相談。専門の就農相談員に就農希望者が目指す農業経営等について相談してもらいます。(同担い手育成センターには、道内の各地の就農支援に関する資料が取り揃えられており、また専門の相談員も親切です)</p>	<p>○ステップ2 【農業体験実習】 まずは、農業体験や農村での生活を体験することから始めます。実際に希望する場合は、同担い手育成センターの紹介を受けてから芦別市へ一度面談にお越しいただきます。その際、制度の説明や関係機関面談の後、農業体験実習へと進みます。</p> <p>○ステップ3 【営農実習】 農業体験実習を終え、本格的に就農を目指す方は、関係機関の審査を受けます。芦別市に移住し農業者へと自立する意欲と可能性が認められた場合に、営農実習へと進みます。</p>	

5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	250 万円	年間労働時間	2000 時間
------	--------	--------	---------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	メロン	75 a	15,000kg	売上 700 万円	専従 2 人	2,200 h/年	
	南瓜等	100 a	16,000kg	経費 450 万円	パート 人		
				所得 250 万円			
主な施設・機械等	ビニールハウス	10 棟	トラクター30ps、25ps	2 台	軽トラック	1 台	
	ロータリー等	一式	除雪機	1 台		台	
		台		台		台	

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。